

科学研究費助成事業 研究成果報告書

令和 6 年 5 月 31 日現在

機関番号：24405

研究種目：基盤研究(A)（一般）

研究期間：2020～2023

課題番号：20H00030

研究課題名（和文）近世巨大都市・三都の複合的社会構造とその世界史的位置 史料と社会 の視点から

研究課題名（英文）The Composite Social Structure of Early Modern Japanese Megacities and Their Place in Global History: An Analysis from the Perspective of Documents and Society

研究代表者

塚田 孝（Tsukada, Takashi）

大阪公立大学・大学院文学研究科・客員教授

研究者番号：60126125

交付決定額（研究期間全体）：（直接経費） 34,100,000円

研究成果の概要（和文）：1970年代以降、3段階の展開を遂げてきた日本近世の都市社会史の現段階に立つて、近世巨大都市・三都（大坂・江戸・京都）について、3つの課題（町の再検討を軸とした複合的な都市社会構造の解明、都市周縁部の社会構造を周辺村方史料から照射する、アジア諸地域との国際的な比較史）の共同研究を進めた。では、大坂難波村の町運営の実態に迫るとともに、三都の町の特質を浮かび上がらせた。では、大坂難波村に残された一件史料から、道頓堀周辺の周縁的な都市社会構造や、難波村への都市性の浸潤の様相を解明した。では、中国・インド・オスマン帝国などとの比較から日本の身分社会と都市構造の特質を浮かび上がらせた。

研究成果の学術的意義や社会的意義
年寄個人の記録から町運営の実態を解明し、そのうえで町制レベルにとどまらない三都の町の比較を行った。周辺村方史料から巨大都市大坂の周縁部の都市社会構造を総合的に解明した。これらは近世の都市社会史研究を大きく前進させる成果であるが、その中で町に限らず、史料と社会 の視点から多様な社会集団に光を当て直すことが課題として浮かび上がってきた。これは近世巨大都市を身分社会に存立するものとして捉えることを意味し、今後の研究方向を提起するものとして学術上大きな意義がある。この身分社会の存立構造を問う視角は、史料と社会 の視角からの国際比較にも新しい飛躍をもたらすであろう。

研究成果の概要（英文）：Since the 1970s, early modern Japanese urban history has undergone three phases of development. Building on the findings of those earlier phases, this project has deepened research on the early modern Japanese megacity by reanalyzing the history of the neighborhood and thereby clarifying the megacity's composite social structure, elucidating the social structure of the city's margins using village documents, and conducting comparative research on premodern cities elsewhere in Asia. In the first case, we clarified the neighborhood's characteristics by analyzing the administrative system in Osaka's Hinayacho neighborhood. In the second case, we used sources from Namba Village to elucidate the structure of local society in the vicinity of Dotonbori Canal and process whereby urban characteristics penetrated village society. In the third case, we clarified the unique features of the early modern Japanese city by conducting comparative analyses of Osman, Chinese, and Indian cities.

研究分野：日本近世の都市社会史、身分社会研究

キーワード：三都 近世巨大都市 複合的社会構造 周縁的社会集団 史料と社会 国際比較

1. 研究開始当初の背景

日本近世は、人口数十万～百万人規模の巨大都市・三都（江戸・大坂・京都）を産み出した「都市の時代」であった。戦前以来の長い歴史を有する日本近世の都市史研究は、1970年代に都市住民生活の基礎単位である「町」への着目によって、それまでの都市の全般的・階層的把握から、都市の社会構造に踏み込んだ研究へと大きな飛躍を遂げた。都市社会史への展開である。その後の研究は、1970～80年代（第1段階）、1990～2000年代（第2段階）を経て、現在、第3段階を迎えている。

第1段階は、京都と江戸を主たる対象として展開したため、即自的に巨大都市研究としての性格を有しており、都市の巨大化によってもたらされる共通性が着目された。1990年代に入ると、三都の都市社会史研究の進展により、それぞれの社会構造の固有性が浮かび上がってきた（第2段階）。特に江戸と大坂に即して、藩邸（蔵屋敷）社会、寺院社会、大店と表店の位相、市場社会、遊廓社会、芝居地、かわた村と非人仲間など、様々な都市内社会の複合構造（分節構造）が具体的に明らかにされていったのである。

こうした中で、三都それぞれが固有の社会構造を持ちながら、地方都市（城下町）とは質を異にする巨大都市としての特質も顕著であることが自覚され、改めてその意味を問うことが課題として浮上してきた（第3段階）。以上のような認識に立って、前科研（「三都の巨大都市化と社会構造の複合化に関する基盤的研究」2016～19年度：研究代表者塚田孝）の共同研究を着想し、『シリーズ三都』（江戸巻・大坂巻・京都巻、吉田・塚田・杉森編、2019年）の成果を積み上げた。そこでは、三都の複合的社会構造を豊かに描き出すとともに、巨大都市としての特質を浮かび上がらせた。また、都市の空間的拡大の最前線である都市周縁部に焦点を当て、周縁的社会集団の「重層と複合」関係の展開を跡づけたが、住民生活の基礎単位である「町」のみならず、非人身分のような周縁的社会集団が大量に史料を残す日本の歴史社会の特質が強く自覚された。この点は、身分的周縁研究の展開の上に立って、同時期に進めていた育成事業によって導かれた側面が強い。

こうした成果を踏まえると、本科研（「都市・周縁〈史料と社会〉」科研）の課題として、次の三つが浮かび上がってきた。第1には、さらに都市社会構造の研究を発展させること、その際「町」の再検討が一つの集約点となろう。都市社会史への飛躍をもたらした「町」への着目であったが、90年代以降、「町」自体の研究は停滞していたからである。第2には、都市周縁部の社会構造を、周辺村落の村方史料から照射するという課題である。第3には、「町」や「村」から周縁的社会集団までが豊富な史料を残してきた日本社会の特質を踏まえて、〈史料と社会〉という視角から、アジア諸地域との比較研究を行い、巨大都市・三都の歴史的な位置づけを明確にすることである。

2. 研究の目的

1970年代以降、3段階の展開を遂げてきた日本近世の都市社会史の現段階に立って、近世巨大都市・三都（大坂・江戸・京都）について、以下の3つの課題を設定して共同研究を進める。①分析対象の史料の特質との関連に留意して、複合的な都市社会構造の解明を進める。その際、「町」の存在形態の再検討を中心課題に位置づけ、三都の巨大都市としての共通性と固有性を明らかにする。②巨大都市・大坂の周縁地域の複合構造を、周辺村落（難波村など）の村方史料を用いて集中的に解明を進め、それを通して村方史料から巨大都市を照射する方法を開発する。③「町」や「村」、さらに多様な周縁的社会集団が大量の史料を作成し、残してきたという日本近世の特質を踏まえて、アジア諸地域における巨大都市の国際比較を行い、三都の世界史的な位置づけを明らかにする。

3. 研究の方法

三都研究会を組織して、三つの柱からなる共同研究を進める。三都研究会は運営委員会・事務局のもとに大坂・江戸・京都の3部会を置く。このうち大坂部会と連動するものとして、周辺村落の村方史料から巨大都市を照射する難波村史料プロジェクトを設ける。これと並行して、育成事業で構築した周縁的社会集団に関する国際的な研究ネットワークを維持・発展させるために、国際ネットワーク構築チームの活動を進める。

適宜、運営委員会・事務局会議を開催し、毎月発行するニューズレターなどで連絡・調整を図り、円座・セミナーを開催し、研究の進捗と成果の共有を図る。

第1の柱については、複合的な都市社会構造の解明を進めるとともに、中核となる三都の町については、町式目の内容などから全体的に比較・検討するとともに、個別町の実態に迫る。特に、町年寄個人の記録であり、町運営の内実が窺える大坂難波町の「町内諸用記」（3冊）の共同研究に取り組む。それらの成果を円座で共有するとともに、堺や地方城下町などとの比較を行う。

第2の柱については、大坂・難波村の成舞家文書に含まれる一件史料の共同研究に取り組む。道頓堀に南接する千日墓所周辺の社会構造を探り、法善寺一件などの史料集を刊行するとともに、19世紀の難波村の諸役所への言上・書上の記録から「町村」としての構造と都市化の進展を探る。

第3の柱については、育成事業「周縁的社会集団と近代」で培われた海外との共同研究ネットワークを発展させ、育成事業の成果を総括するべく予定されていた大阪市立大学国際学術シンポジウムの取組みと連動して、セミナーを積み上げる。その際、〈史料と社会〉の視点から都市における周縁的社会集団のあり方と近代に向けた変容を探ることに留意する。

4. 研究成果

研究目的である、三都（大坂・江戸・京都）について、①複合的な都市社会構造の解明、②周辺村方史料からの巨大都市の照射、③巨大都市の国際比較、の3本柱に即して共同研究を進めるとともに、全体を総括して、次への研究展望を共有した。また、ニューズレターを毎月発行し（1～47号）、研究メンバーの交流を図った。

(1) 三都の複合的な都市社会構造

① 三都の都市社会構造の研究の進展と共有を図るため、以下の円座(シンポジウム)を行った。

・2020年11月15日小円座
報告：ジョン・ポーター「近世前期における町の創出過程と拝領町屋敷—江戸の坂本町を事例に—」

・2021年3月21日小円座「雛屋町の町内構造について」

報告：三田智子「家守網屋喜兵衛一件から考える雛屋町」

別曾和江「雛屋町における「下役」の検討」

・2021年3月27日国際小円座「地方城下町・陣屋元村の地域史」

報告：マーレン・エーラス「地域社会の固有性と普遍性—明治維新前後の越前大野を例に—」

齊藤 紘子「和泉国伯太藩陣屋元村の村落構造—青木家文書の調査から—」

・2021年8月7日小円座「近世都市堺の個別町について」

報告：山下聡一「井上関右衛門家伝来の中浜一丁目文書の把握にむけて」

・2021年9月20日近世大坂〈史料と社会〉円座「吉野五運をめぐる全体史」

報告：塚田孝「吉野五運の家と都市社会」

渡辺祥子「吉野五運の取引先の史料と社会」

【大阪市立大学大学院文学研究科日本史学教室との共同主催】

・2022年3月21日小円座「近世京都の史料と社会」

報告：西山剛「町共同体と祇園会—三条御倉町を中心に—」

齊藤紘子「京郊の土器師集団について—愛宕郡木野村の村方文書から—」

杉森哲也「近世初期京都における遊廓成立過程の再検討」

・2022年6月5日小円座「近世大坂の都市社会と大工集団」

報告：田坪賢人「株仲間解散期における大坂の大工組」

コメント：谷 直樹

・2022年9月24日小円座「江戸の都市社会と史料」

報告：高垣亜矢「幕末蝦夷地の皮革と江戸—ラッコ皮に着目して—」

永原健彦「幕末期の車力渡世」

・2022年12月9日国際小円座「近江商人と地域社会」

報告：ジョン・ダミコ「近江商人と地域社会—中井源左衛門家の石巻質店を事例に—」

・2023年3月25日小円座「近世・近代京都の史料と社会」

報告：吉元加奈美「近世京都の遊所統制と天保改革」

杉森哲也「近世京都の部落史関係史料と都市社会」

岩本葉子「明治初年京都藩邸の実態と処分過程」

・2024年1月18日国際小円座「近世大坂の水と地域」

報告：ティモシー・エイモス「明治以前の大坂周辺における「水の問題」と地域の知識」

・2024年2月19日小円座「近世大坂の個別町と都市社会—空間・人別・町有文書—」

報告：田坪賢人「近世大坂の個別町の社会=空間構造復元と史料」

呉 偉華「都市大坂の個別町における人別管理と町運営」

【都市文化研究センターの都市研究フォーラム（第17回）との共催】

② 研究の集約点に設定した「町」の再検討について、大坂・雛屋町の年寄天満屋六治郎が役務に関わって記した「町内諸用記」の史料集と分析を報告書として刊行した。また、大坂の「町」と「仲間」に即して総合的に再検討を行い、成果を刊行した。

・『雛屋町「町内諸用記」—近世大坂町方関係史料1—』（三田智子・別曾和江・塚田孝・近世大坂研究会編）2021年12月、都市文化研究センター刊

雛屋町「町内諸用記」1～3および「式目帳」の翻刻と解題を収録。これによって、雛屋町の〈町制の枠組み〉と〈町運営の実態〉の両面からの分析が可能となった（2021年3月21日小円座／同年11月27日国際シンポジウムプレセミナーの報告）。

・『史料から読む近世大坂』（塚田孝編）2023年9月、和泉書院刊

「Ⅰ近世都市大坂の形成と三郷惣年寄」「Ⅱ町（住民生活の基礎単位）」「Ⅲ仲間」に分けて、基本史料を読み解きながら、都市大坂の特質を浮き彫りにした。

(2) 周辺村方史料からの照射

① 大坂難波村の史料群から道頓堀に南接する千日前墓所周辺の社会構造を都市大坂の周縁という位置づけで総合的に明らかにするとともに、大坂三郷に編入される新地開発や村領内に展

開する新建家が広がっていく様相、19世紀の難波村の「町村」としての構造を明らかにするべく、共同研究を進めた。そのため、19世紀の「言上帳抜書」「書上抜書帳」をテキストとして、毎回報告者が個別の史料を取り上げて精読する「成舞家文書を読む会」を実施した（期間中に36回開催）。その成果を、総括円座（後掲）の第Ⅱセッションで共同報告として発表した。さらにそれ以外の成果も含めて、成果報告書を刊行した。

・『近世難波村の共同研究—都市大坂の周縁をひらく—』（塚田孝・三田智子・齊藤紘子編）2024年3月、都市文化研究センター刊

塚田孝「序論 難波村の概要と「町村」の構造」、〈第一部 天保期難波村の生産状況〉町田哲「近世難波村の生産条件・大雨被害と藍作」／齊藤紘子・木下茉悠子「天保飢饉における難波村」／羽田真也「土地の把握と年貢徴収」、〈第二部 新建家の展開〉齊藤紘子「難波村新祇園町・戎町の年寄役について」／佐藤敦子「文政期難波村の小見世物小屋興行について」／呉偉華「難波村栄町の火事について」／田坪賢人「難波村の畑地利用と簡易建築」／別曾和江「難波村戎町における石灯籠建立願いの検討」／田坪賢人「難波村畑地に建てられた石灯籠と石鳥居」、〈第三部 難波村と周辺社会〉熊谷光子「鈴木町代官交代と難波村庄屋」／三田智子「消防人足と難波村」／島崎未央「大坂近郊農村の絞油株について」／佐藤敦子「舞稽古さらへ」箇条の検討」／吉元加奈美「鈴木町代官所による「隠売女」取締り」、〈第四部 難波村研究によせて〉飯田直樹「難波村の近代」／杉森哲也「近世京都との比較から」／井上徹「中国近世史の立場から」

② 千日墓所周辺の社会構造については、法善寺に関する史料集を刊行するとともに、竹林寺や自安寺の史料の翻刻を蓄積した。都市周縁の特徴については、塚田「道頓堀周辺の社会＝空間構造—周辺村方史料から巨大都市を照射する—」（後掲『周縁的社会集団と近代』所収）などで論じている。

・『「浄土宗法善寺一件留」壱番—大坂・難波村関係史料1—』（塚田孝・三田智子・齊藤紘子・近世大坂研究会編）2021年3月、都市文化研究センター刊

・『「浄土宗法善寺一件留」二番・無番2—大坂・難波村関係史料2—』（塚田孝・三田智子・齊藤紘子・呉偉華・近世大坂研究会編）2022年3月、都市文化研究センター刊

・『「浄土宗法善寺一件留」無番1—大坂・難波村関係史料3—』（塚田孝・三田智子・齊藤紘子・呉偉華・近世大坂研究会編）2023年3月、都市文化研究センター刊

(3) 国際的な比較史

① 大阪市立大学国際学術シンポジウムの取組みと連携しながら、「周縁的社会集団と近代」を一つの焦点として共同討論を組織した。その成果を『周縁的社会集団と近代』（2022年12月、清文堂出版刊）として刊行した。

大阪市立大学国際学術シンポジウム実行委員会と共同で、2020年9月から翌年8月の間に7回の準備セミナーを開催したが、新型コロナウイルス感染症の蔓延のため大規模な国際シンポジウムは開催できなかった。そこで、2021年12月にハイブリットでメインセミナーを開催し、その前後に毎月オンラインセミナー（全6回）を実施して、それらの総体を国際学術シンポジウム連続セミナーと位置づけた。

この国際学術シンポジウムを軸に研究論集を刊行するとともに、その後もフォローアップセミナー（2023年度後半からは研究交流セミナーと改称）を7回実施して、共同研究の輪を維持・発展させてきた。

・2021年12月18日メインセミナー「近世～近代日本・アジアの周縁的社会集団と史料」

第Ⅰ部〈近世・近代日本の周縁的社会集団—その世界史的位置〉報告：塚田孝「近世大坂・道頓堀の社会＝空間と周縁的社会集団の世界」、コメント：ダニエル・ボツマン／マーレン・エーラス

第Ⅱ部〈近世・近代東アジアの社会集団—日本と中国の交流史から〉報告：彭浩「近世貿易都市・長崎の「唐人」社会」／張智慧「国際都市・上海の日本人居留民社会」／渡辺健哉「幕末明治人の見た〈近代〉中国社会」

・『周縁的社会集団と近代』（塚田孝・佐賀朝・渡辺健哉・上野雅由樹編）2023年3月、清文堂出版刊（下線はオンラインセミナーで報告したもの）

序章「周縁的社会集団をめぐる対話と架橋」塚田孝「道頓堀周辺の社会＝空間構造」／ダニエル・ボツマン「コメント：近世大坂・道頓堀の社会＝空間と周縁的社会集団の世界」／マーレン・エーラス「コメント：地方城下町から周縁を考える」

第Ⅰ部「アジア諸地域の近代化をめぐる比較史」ダニエル・ボツマン「19世紀日本における牛、人間、そして「進歩」」／マーレン・エーラス「水戸から来た天狗」／佐賀朝「「遊廓社会」の近代化」／ジョン・ポーター「近世身分制の解体と貧民救済＝統制の近代化」／渡辺健哉「幕末明治人の見た〈近代〉中国の社会」／張智慧「国際都市・上海の日本人居留民社会」／上野雅由樹「オスマン帝国とヨーロッパ」

第Ⅱ部「周縁的社会集団に迫る史料—史料の存在形態と比較史—」小谷汪之「近世インドの周縁的社会集団と史料—マラーティー語文書の世界—」／ティモシー・エイモス「明治初期大阪の裁判記録にみる近世身分法違反と地域的支配慣習に関する法的判断」／安竹貴彦「諸吟味書」の世界」／馬学強「「商船会館」からみた清代中後期上海の港湾および周辺街区の変遷」／渡辺祥子「馬学強報告へのコメント：日本近世の同業組合会所と比較する視点から」／彭浩「近世長崎貿易の唐船商人と関係史料」／向井伸哉「近世日・中・印における生業な

らびに社会集団の存在様態を比較する」

第Ⅲ部「下からの歴史—社会集団と個—」吉元加奈美「近世大坂の都市域の拡大と隣接村への影響」／齊藤紘子「陣屋元村の都市化と人別・家数管理」／島崎未央「村中規定連印帳にみる和泉国池田下村の19世紀」／藤本大士「医療宣教に見る欧米・アジア間の移動と交流」／北村昌史「コメント：都市と社会集団の比較史」

- ② この間、上海大学、上海社会科学院との間で継続的な比較史の共同討論の場を持った。
- ・2021年11月27日日本科研・上海社会科学院共催国際シンポジウムプレセミナー「近世・近代巨大都市の比較史—大坂と上海の社会構造と史料—」オンライン
馬学強「上海商船会館に関する資料整理と研究」／三田智子「19世紀中期の町共同体—雛屋町「丁内諸用記」から」／叶舟「上海巨大都市及び周辺地区における家譜史料研究」／齊藤紘子「都市域の拡大と周辺村落—難波村成舞家文書から」
 - ・2022年11月26日・27日上海社会科学院主催：国際学術研究会「濱水城市空間形態与历史文化演进」（国際シンポジウム「水辺の都市の空間構造と歴史文化の変遷」）
日本の報告者分については総括報告書（後掲）第二部参照
 - ・2022年8月20日上海大学文学院・大阪公立大学文学研究科 国際共同オンラインセミナー（第1回）報告者4人
 - ・2023年5月14日上海大学文学院・大阪公立大学文学研究科 国際共同オンラインセミナー（第2回）報告者4人

(4) 総括円座（シンポジウム）と総括報告書

3つの柱に沿って進めた共同研究の総括のため、3つのセッションからなる総括円座を開催し、その成果とこれまでの国際シンポジウムや円座の成果をまとめて、総括報告書を刊行した。

- ・2023年8月26日・27日総括円座「近世巨大都市・三都の複合的社会構造とその世界史的位 置—〈史料と社会〉の視点から—」（対面メイン：オンライン併用）
セッションⅠ「三都の都市社会構造分析の深化へ」／セッションⅡ「周辺の村方史料から巨大都市を照射する」／セッションⅢ「国際的な比較史へ—〈身分と集団〉〈史料と社会〉—」（セッションⅠ・Ⅲは総括報告書へ、セッションⅡは『近世難波村の共同研究』へ）
- ・『近世巨大都市・三都の複合構造とその世界史的位 置』（塚田孝・吉田伸之・杉森哲也編）2024年1月、都市文化研究センター刊

第一部「都市・周縁〈史料と社会〉科研」総括円座より」

塚田孝「都市社会史研究の現在と今後—総括円座開催にあたって—」、セッションⅠ「三都の都市社会構造分析の深化へ」吉元加奈美『『市中取締類集遠国伺等之部』からみる天保改革下の政策決定過程』／崎島達矢「同業組合の成立経緯にみる近世近代移行期の都市」／原直史「巨大都市における川船運航の実態」、セッションⅢ「国際的な比較史へ—〈身分と集団〉〈史料と社会〉—」向井伸哉『『「身分」を交差させる』から考える』／高澤紀恵「編者からのリプライ」／森下徹『『周縁的社会集団と近代』から考える』／佐賀朝「森下徹氏の報告へのリプライ」／吉田伸之「総括コメント」

第二部「国際シンポジウム「水辺の都市の空間構造と歴史文化の構造」より」

陣内秀信「水都東京の空間構造」／吉田伸之「江戸の水辺と舟運構造」／彭浩「江戸時代長崎の唐船・蘭船貿易と荷漕船」／塚田孝「概観：近世大坂の堀川と都市社会」／佐賀朝「近代大阪の臨海部開発・工業化と地域社会」

第三部「三都の都市社会史研究の展開（円座・セミナーより）」

杉森哲也「近世京都における遊廓成立過程の再検討」／西山剛「町共同体と祇園会」／岩本葉子「京都における藩邸処分過程とその特徴」／別曾和江「近世大坂雛屋町における町代・下役の考察」

この間、大坂を中心としながら、三都の「町」のあり方の再検討を試みてきた。これまで支配名主が管轄する江戸の町に対して、年寄が運営の中心にいる京都・大坂の町という対比だけにとどまっていたが、それでは不十分であり、京都と大坂の町年寄の性格（ひいては町の性格）の差異にも注目すべきだという点が浮かび上がってきた。さらに、町に限らず、〈史料と社会〉の視点から多様な社会集団に光を当て直すことも課題として浮かび上がってきた。これは、近世巨大都市が身分社会において存立していることの再認識によるところが大きい。その契機となったのは、一つには「周縁的社会集団」をめぐる〈史料と社会〉の視点からの国際比較であり、もう一つは同時期に進められた『社会集団史』（塚田孝編、2022年、山川出版社刊）の編集作業との連動にあった。

道頓堀に南接する千日墓所周辺の社会構造が明らかになるとともに、19世紀の難波村の「町村」の構造と都市性の浸潤が明らかになってきたが、17世紀からの村落構造の展開が次の課題になる。また、18世紀半ば以降の田沼政権によって株仲間が広範に認められる動向があったが、それが周辺農村に大きな影響を与えることが窺えた。これは、周辺農村との機能的関係を見ることなしに都市大坂の経済社会の総体的把握はできないことを意味し、次の大きな課題である。同時に、それは多様な仲間集団に光を当て直すことと表裏の関係にあると言えよう。

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計80件（うち査読付論文 17件 / うち国際共著 0件 / うちオープンアクセス 3件）

1. 著者名 塚田孝	4. 巻 -
2. 論文標題 近世大坂の非人身分と史料	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 高澤紀恵・ギョーム カレ編『「身分」を交差させる 日本とフランスの近世』東京大学出版会	6. 最初と最後の頁 161-167
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 塚田孝	4. 巻 300
2. 論文標題 近世大坂の都市社会史と身分制 周辺村方史料から照射する	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 ヒストリア	6. 最初と最後の頁 218-235
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 塚田孝	4. 巻 247
2. 論文標題 都市周縁の寺 = 竹林寺 周辺村方史料から照射する	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 部落問題研究	6. 最初と最後の頁 2-22
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Tsukada Takashi	4. 巻 -
2. 論文標題 la societe japonaise de la periode premoderne en considerant les groupes sociaux marginaux	5. 発行年 2024年
3. 雑誌名 Japon Pluriel 14 - Peripheries et centres	6. 最初と最後の頁 19-42
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 塚田孝	4. 巻 -
2. 論文標題 都市社会史研究の現在と今後 総括円座開催にあたって	5. 発行年 2024年
3. 雑誌名 塚田孝・吉田伸之・杉森哲也編『近世巨大都市・三都の複合構造とその世界史的位置』大阪公立大学大学院文学研究科都市文化研究センター	6. 最初と最後の頁 1-6
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 塚田孝	4. 巻 -
2. 論文標題 概観：近世大坂の堀川と都市社会	5. 発行年 2024年
3. 雑誌名 塚田孝・吉田伸之・杉森哲也編『近世巨大都市・三都の複合構造とその世界史的位置』大阪公立大学大学院文学研究科都市文化研究センター	6. 最初と最後の頁 144-168
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 塚田孝	4. 巻 -
2. 論文標題 序論 難波村の概要と「町村」の構造	5. 発行年 2024年
3. 雑誌名 塚田孝・三田智子・齊藤紘子編『近世難波村の共同研究 都市大坂の周縁をひらく』大阪公立大学大学院文学研究科都市文化研究センター	6. 最初と最後の頁 1-17
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 吉田伸之	4. 巻 -
2. 論文標題 江戸と海苔 その生産と流通	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 特別展図録『海苔商たちの底力』大田区立郷土博物館	6. 最初と最後の頁 72-75
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 吉田伸之	4. 巻 -
2. 論文標題 総括コメント	5. 発行年 2024年
3. 雑誌名 塚田孝・吉田伸之・杉森哲也編『近世巨大都市・三都の複合構造とその世界史的位置』大阪公立大学大学院文学研究科都市文化研究センター	6. 最初と最後の頁 101-103
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 吉田伸之	4. 巻 -
2. 論文標題 江戸の水辺と舟運構造	5. 発行年 2024年
3. 雑誌名 塚田孝・吉田伸之・杉森哲也編『近世巨大都市・三都の複合構造とその世界史的位置』大阪公立大学大学院文学研究科都市文化研究センター	6. 最初と最後の頁 123-134
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 杉森哲也	4. 巻 -
2. 論文標題 近世京都における遊廓成立過程の再検討	5. 発行年 2024年
3. 雑誌名 塚田孝・吉田伸之・杉森哲也編『近世巨大都市・三都の複合構造とその世界史的位置』大阪公立大学大学院文学研究科都市文化研究センター	6. 最初と最後の頁 179-188
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 杉森哲也	4. 巻 -
2. 論文標題 近世京都との比較から	5. 発行年 2024年
3. 雑誌名 塚田孝・三田智子・齊藤紘子編『近世難波村の共同研究 都市大坂の周縁をひらく』大阪公立大学大学院文学研究科都市文化研究センター	6. 最初と最後の頁 136-141
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 三田智子	4. 巻 -
2. 論文標題 かわたと非人	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 多和田雅保・牧原成征編『日本近世史を見通す5 身分社会の生き方』吉川弘文館	6. 最初と最後の頁 90-116
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 三田智子	4. 巻 -
2. 論文標題 消防人足と難波村	5. 発行年 2024年
3. 雑誌名 塚田孝・三田智子・齊藤紘子編『近世難波村の共同研究 都市大坂の周縁をひらく』大阪公立大学大学院文学研究科都市文化研究センター	6. 最初と最後の頁 94-100
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 齊藤紘子	4. 巻 -
2. 論文標題 難波村新祇園町・戎町の年寄役について	5. 発行年 2024年
3. 雑誌名 塚田孝・三田智子・齊藤紘子編『近世難波村の共同研究 都市大坂の周縁をひらく』大阪公立大学大学院文学研究科都市文化研究センター	6. 最初と最後の頁 41-49
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 齊藤紘子・木下茉悠子	4. 巻 -
2. 論文標題 天保飢饉における難波村 年貢未納と困窮者救済	5. 発行年 2024年
3. 雑誌名 塚田孝・三田智子・齊藤紘子編『近世難波村の共同研究 都市大坂の周縁をひらく』大阪公立大学大学院文学研究科都市文化研究センター	6. 最初と最後の頁 29-35
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 佐賀朝	4. 巻 -
2. 論文標題 森下徹氏の報告へのリプライ 編者の立場から	5. 発行年 2024年
3. 雑誌名 塚田孝・吉田伸之・杉森哲也編『近世巨大都市・三都の複合構造とその世界史的位置』大阪公立大学大学院文学研究科都市文化研究センター	6. 最初と最後の頁 97-100
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 佐賀朝	4. 巻 -
2. 論文標題 近代大阪の臨海部開発・工業化と地域社会 河川・運河や水辺空間との関係に注目して	5. 発行年 2024年
3. 雑誌名 塚田孝・吉田伸之・杉森哲也編『近世巨大都市・三都の複合構造とその世界史的位置』大阪公立大学大学院文学研究科都市文化研究センター	6. 最初と最後の頁 169-178
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 彭浩	4. 巻 -
2. 論文標題 江戸時代長崎の唐船・蘭船貿易と荷漕船	5. 発行年 2024年
3. 雑誌名 塚田孝・吉田伸之・杉森哲也編『近世巨大都市・三都の複合構造とその世界史的位置』大阪公立大学大学院文学研究科都市文化研究センター	6. 最初と最後の頁 135-143
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 飯田直樹	4. 巻 -
2. 論文標題 難波村の近代 先行研究の検討から	5. 発行年 2024年
3. 雑誌名 塚田孝・三田智子・齊藤紘子編『近世難波村の共同研究 都市大坂の周縁をひらく』大阪公立大学大学院文学研究科都市文化研究センター	6. 最初と最後の頁 123-135
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 島崎未央	4. 巻 -
2. 論文標題 大坂城内の下掃除と御用商人、近郊農村	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 大澤研一・仁木宏監修 『【築城四百年】徳川大坂城をさぐる』清文堂出版	6. 最初と最後の頁 237-256
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 島崎未央	4. 巻 -
2. 論文標題 大坂近郊農村の絞油株について	5. 発行年 2024年
3. 雑誌名 塚田孝・三田智子・齊藤紘子編 『近世難波村の共同研究 都市大坂の周縁をひらく』大阪公立大学大学院文学研究科都市文化研究センター	6. 最初と最後の頁 101-104
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 島崎未央	4. 巻 22
2. 論文標題 株仲間再興後の大坂における油の生産と流通構造 摂津国遠里小野村を例に	5. 発行年 2024年
3. 雑誌名 大阪歴史博物館研究紀要	6. 最初と最後の頁 25-42
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 吉元加奈美	4. 巻 -
2. 論文標題 大坂・堀江新地の茶屋と茶立女	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 多和田雅保・牧原成征編 『日本近世史を見通す5 身分社会の生き方』吉川弘文館	6. 最初と最後の頁 148-173
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 吉元加奈美	4. 巻 -
2. 論文標題 『市中取締類集遠国何等之部』からみる天保改革下の政策決定過程 大坂と京都の遊所統制策を事例に	5. 発行年 2024年
3. 雑誌名 塚田孝・吉田伸之・杉森哲也編『近世巨大都市・三都の複合構造とその世界史的位置』大阪公立大学大学院文学研究科都市文化研究センター	6. 最初と最後の頁 7-23
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 吉元加奈美	4. 巻 -
2. 論文標題 鈴木町代官所による「隠売女」取締り	5. 発行年 2024年
3. 雑誌名 塚田孝・三田智子・齊藤紘子編『近世難波村の共同研究 都市大坂の周縁をひらく』大阪公立大学大学院文学研究科都市文化研究センター	6. 最初と最後の頁 114-121
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 後藤雅知	4. 巻 -
2. 論文標題 房総の山稼ぎと江戸	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 多和田雅保・牧原成征編『日本近世史を見通す5 身分社会の生き方』吉川弘文館	6. 最初と最後の頁 61-84
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 森下徹	4. 巻 -
2. 論文標題 日本近世の身分と社会	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 高澤紀恵・ギョーム カレ編『「身分」を交差させる 日本とフランスの近世』東京大学出版会	6. 最初と最後の頁 39-52
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 森下徹	4. 巻 -
2. 論文標題 『周縁的社会集団と近代』から考える	5. 発行年 2024年
3. 雑誌名 塚田孝・吉田伸之・杉森哲也編『近世巨大都市・三都の複合構造とその世界史的位置』大阪公立大学大学院文学研究科都市文化研究センター	6. 最初と最後の頁 90-96
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 町田哲	4. 巻 -
2. 論文標題 近世難波村の生産条件・大雨被害と藍作 天保7(1836)年11月拝借願いから	5. 発行年 2024年
3. 雑誌名 塚田孝・三田智子・齊藤紘子編『近世難波村の共同研究 都市大坂の周縁をひらく』大阪公立大学大学院文学研究科都市文化研究センター	6. 最初と最後の頁 19-28
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 塚田孝	4. 巻 -
2. 論文標題 近世の社会集団 総論にかえて	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 塚田孝編『新体系日本史8 社会集団史』山川出版社	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 塚田孝	4. 巻 -
2. 論文標題 大坂の非人	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 塚田孝編『新体系日本史8 社会集団史』山川出版社	6. 最初と最後の頁 45-62
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 塚田孝	4. 巻 -
2. 論文標題 道頓堀周辺の社会 = 空間構造 周辺村方史料から巨大都市を照射する	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 塚田孝・佐賀朝・渡辺健哉・上野雅由樹編『周縁的社会集団と近代』（文学研究科叢書12）、清文堂出版	6. 最初と最後の頁 5-31
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 吉田伸之	4. 巻 9
2. 論文標題 芝浦・高輪海岸の地帯構造と鉄道一件	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 都市史研究	6. 最初と最後の頁 58-59
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 三田智子	4. 巻 -
2. 論文標題 かわた村の草場 諸身分を媒介する場	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 塚田孝編『新体系日本史8 社会集団史』山川出版社	6. 最初と最後の頁 63-76
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 齊藤紘子	4. 巻 -
2. 論文標題 近世京都の土器師集団	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 塚田孝編『新体系日本史8 社会集団史』山川出版社	6. 最初と最後の頁 303 - 321
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 齊藤紘子	4. 巻
2. 論文標題 陣屋元村の都市化と人別・家数管理 近世後期和泉国泉郡伯太村を事例に	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 塚田孝・佐賀朝・渡辺健哉・上野雅由樹編『周縁的社会集団と近代』（文学研究科叢書12）、清文堂出版	6. 最初と最後の頁 373 - 399
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 佐賀朝	4. 巻
2. 論文標題 「遊郭社会」の近代化 研究史整理と一次史料の検討から	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 塚田孝・佐賀朝・渡辺健哉・上野雅由樹編『周縁的社会集団と近代』（文学研究科叢書12）、清文堂出版	6. 最初と最後の頁 111-142
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 上野雅由樹	4. 巻 -
2. 論文標題 近世のオスマン社会	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 『岩波講座世界歴史第13巻 西アジア・南アジアの帝国16～18世紀』岩波書店	6. 最初と最後の頁 57-84
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 上野雅由樹、上柿智生	4. 巻 249
2. 論文標題 19世紀のイスタンブルにおける教区とムフタル制	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 歴史科学	6. 最初と最後の頁 20-29
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Masayuki Ueno	4. 巻 54(2)
2. 論文標題 In Pursuit of Laicized Urban Administration: The Muhtar System in Istanbul and Ottoman Attitudes toward Non-Muslim Religious Authorities in the Nineteenth Century,	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 International Journal of Middle East Studies	6. 最初と最後の頁 302-318
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 上野雅由樹	4. 巻
2. 論文標題 オスマン帝国とヨーロッパ 17世紀末から18世紀における対カトリック政策から	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 塚田孝・佐賀朝・渡辺健哉・上野雅由樹編『周縁的社会集団と近代』(文学研究科叢書12)、清文堂出版	6. 最初と最後の頁 197-218
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 彭浩	4. 巻
2. 論文標題 貿易にかかわる集団 唐船の商人	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 塚田孝編『新体系日本史8 社会集団史』山川出版社	6. 最初と最後の頁 278-284
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 彭浩	4. 巻
2. 論文標題 近世長崎貿易の唐船商人と関係史料 史料の管理・保存をめぐる日中比較を兼ねて	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 塚田孝・佐賀朝・渡辺健哉・上野雅由樹編『周縁的社会集団と近代』(文学研究科叢書12)、清文堂出版	6. 最初と最後の頁 315-335
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 飯田直樹	4. 巻
2. 論文標題 大阪相撲の部屋と勸進	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 塚田孝編『新体系日本史8 社会集団史』山川出版社	6. 最初と最後の頁 129-145
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 島崎未央	4. 巻
2. 論文標題 出油屋仲間	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 塚田孝編『新体系日本史8 社会集団史』山川出版社	6. 最初と最後の頁 272-277
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 島崎未央	4. 巻
2. 論文標題 村中規定連印帳にみる和泉国池田下村の19世紀	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 塚田孝・佐賀朝・渡辺健哉・上野雅由樹編『周縁的社会集団と近代』(文学研究科叢書12)、清文堂出版	6. 最初と最後の頁 401-424
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 山下聡一	4. 巻
2. 論文標題 社家仲間と「家」	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 塚田孝編『新体系日本史8 社会集団史』山川出版社	6. 最初と最後の頁 218-233
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 吉元加奈美	4. 巻
2. 論文標題 大坂の茶屋仲間	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 塚田孝編『新体系日本史8 社会集団史』山川出版社	6. 最初と最後の頁 145-153
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 吉元加奈美	4. 巻
2. 論文標題 近世大坂の都市域の拡大と隣接村への影響 堀江新地と難波村の境界に注目して	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 塚田孝・佐賀朝・渡辺健哉・上野雅由樹編『周縁的社会集団と近代』(文学研究科叢書12)、清文堂出版	6. 最初と最後の頁 345-371
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 ジョン・ポーター	4. 巻
2. 論文標題 近世身分制の解体と社会集団の近代 江戸・東京の浅草新町を事例に	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 塚田孝編『新体系日本史8 社会集団史』山川出版社	6. 最初と最後の頁 77-92
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 ジョン・ポーター	4. 巻
2. 論文標題 近世身分制の解体と貧民救済 = 統制の近代化 明治初期東京の救貧体制を事例に	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 塚田孝・佐賀朝・渡辺健哉・上野雅由樹編『周縁的社会集団と近代』(文学研究科叢書12)、清文堂出版	6. 最初と最後の頁 143-163
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 森下徹	4. 巻
2. 論文標題 仲仕	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 塚田孝編『新体系日本史8 社会集団史』山川出版社	6. 最初と最後の頁 322-338
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 渡辺健哉	4. 巻
2. 論文標題 元の大都 元朝の中国統治	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 『岩波講座世界歴史第7巻 東アジアの展開8～14世紀』岩波書店	6. 最初と最後の頁 219-238
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 渡辺健哉	4. 巻
2. 論文標題 幕末明治人の見た 近代 中国の社会 岡千仞『観光紀游』を手がかりに	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 塚田孝・佐賀朝・渡辺健哉・上野雅由樹編『周縁的社会集団と近代』(文学研究科叢書12)、清文堂出版	6. 最初と最後の頁 165-180
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 ダニエル・V・ボツマン	4. 巻
2. 論文標題 19世紀日本における牛、人間、そして「進歩」	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 塚田孝・佐賀朝・渡辺健哉・上野雅由樹編『周縁的社会集団と近代』(文学研究科叢書12)、清文堂出版	6. 最初と最後の頁 45-78
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 マーレン・A・エーラス	4. 巻
2. 論文標題 水戸から来た天狗 1864年に越前に到来した内戦	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 塚田孝・佐賀朝・渡辺健哉・上野雅由樹編『周縁的社会集団と近代』（文学研究科叢書12）、清文堂出版	6. 最初と最後の頁 79-109
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 ティモシー・エイモス	4. 巻
2. 論文標題 明治初期大阪の裁判記録にみる近世身分法違反と地域の支配慣習に関する法的判断	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 塚田孝・佐賀朝・渡辺健哉・上野雅由樹編『周縁的社会集団と近代』（文学研究科叢書12）、清文堂出版	6. 最初と最後の頁 237-247
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 張智慧	4. 巻
2. 論文標題 国際都市・上海の日本人居留民社会 1920～30年代を中心に	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 塚田孝・佐賀朝・渡辺健哉・上野雅由樹編『周縁的社会集団と近代』（文学研究科叢書12）、清文堂出版	6. 最初と最後の頁 181-196
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 馬学強	4. 巻
2. 論文標題 「商船会館」からみた清代中後期上海の港湾および周辺街区の変遷	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 塚田孝・佐賀朝・渡辺健哉・上野雅由樹編『周縁的社会集団と近代』（文学研究科叢書12）、清文堂出版	6. 最初と最後の頁 269-300
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 塚田孝	4. 巻 238
2. 論文標題 研究ノート：大坂「千日墓所一件」に見える心中	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 部落問題研究	6. 最初と最後の頁 80-103
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Tsukada Takashi	4. 巻 -
2. 論文標題 The Meiji Restoration and Local History: Reflections Based on Osaka's Izumi Region	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Timothy Amos and Akiko Ishii, eds. Revisiting Japan's Restoration: New Approaches to the Study of the Meiji Transformation (Routledge)	6. 最初と最後の頁 205-213
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.4324/9781003207771-34	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 杉森哲也・塚田孝・吉田伸之	4. 巻 248
2. 論文標題 近世巨大都市社会構造研究の最前線 - 『シリーズ三都』をめぐって - 編者からのリプライ	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 歴史科学	6. 最初と最後の頁 55-60
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 佐賀朝	4. 巻 -
2. 論文標題 巨大都市大阪の形成と地域社会構造	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 川野英二編著『阪神圏都市圏の研究』ナカニシヤ出版	6. 最初と最後の頁 3-32
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Saga Ashita	4. 巻 -
2. 論文標題 The World of the Pleasure Quarters in the Transitional Period from Early Modern to Modern Japan: Research on the Yokohama Pleasure Quarters	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Timothy Amos and Akiko Ishii, eds. Revisiting Japan's Restoration: New Approaches to the Study of the Meiji Transformation (Routledge)	6. 最初と最後の頁 229-238
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.4324/9781003207771-38	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 彭浩	4. 巻 120
2. 論文標題 Commission Merchants in the Chinese Junk Trade in Early Modern Nagasaki	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 ACTA ASIATICA	6. 最初と最後の頁 1-18
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 彭浩	4. 巻 122
2. 論文標題 17世紀前期東アジア海域のトレーディング・パス オランダ東インド会社公務日記に収録された事例を中心に	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 経済学雑誌	6. 最初と最後の頁 73-94
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Shimazaki Mio	4. 巻 -
2. 論文標題 Post-Restoration Transformations and Merchant Guilds: The Oilseed Merchants of Osaka	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Timothy Amos and Akiko Ishii, eds. Revisiting Japan's Restoration: New Approaches to the Study of the Meiji Transformation (Routledge)	6. 最初と最後の頁 196-202
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.4324/9781003207771-32	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Yoshimoto Kanami	4. 巻 -
2. 論文標題 Changes in the Regulation of Unlicensed Prostitutes in the Ansei Period (1854-1860) and "Horie-Shinchi"	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Timothy Amos and Akiko Ishii, eds. Revisiting Japan's Restoration: New Approaches to the Study of the Meiji Transformation (Routledge)	6. 最初と最後の頁 239-246
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.4324/9781003207771-39	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 ジョン・ポーター	4. 巻 239
2. 論文標題 幕末江戸の場末門前町と身分的周縁 乞胸の龍光寺門前への集団的移転を事例に	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 部落問題研究	6. 最初と最後の頁 95-120
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 John Porter	4. 巻 -
2. 論文標題 Cattle Plague, Livestock Disposal, and the Dismantling of the Early Modern Status Order	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Timothy Amos and Akiko Ishii, eds. Revisiting Japan's Restoration: New Approaches to the Study of the Meiji Transformation (Routledge)	6. 最初と最後の頁 173 ~ 180
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.4324/9781003207771-28	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 塚田孝	4. 巻 234
2. 論文標題 道頓堀周辺の非人行倒れ	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 部落問題研究	6. 最初と最後の頁 2-31
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 塚田孝・齊藤紘子・木村美菜	4. 巻 -
2. 論文標題 浄土宗法善寺 - 大坂の都市社会の中で -	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 塚田孝・齊藤紘子・三田智子・近世大坂研究会編『「浄土宗法善寺一件留」巻番 大坂・難波村関係史料1 (都市・周縁 史料と社会 科研報告書)』大阪市立大学大学院文学研究科都市文化研究センター	6. 最初と最後の頁 111-135
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 三田智子	4. 巻 -
2. 論文標題 難屋町「丁内諸用記」・「式目帳」について	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 三田智子・別曾和江・塚田孝・近世大坂研究会編『難屋町「丁内諸用記」 近世大坂町方関係史料2 (都市・周縁 史料と社会 科研報告書)』大阪市立大学大学院文学研究科都市文化研究センター	6. 最初と最後の頁 129-154
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 神田由築	4. 巻 222
2. 論文標題 江戸の音曲文化	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 国立歴史民俗博物館研究報告	6. 最初と最後の頁 157-177
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 町田哲	4. 巻 233
2. 論文標題 近世の行き倒れへの着目と課題 四国遍路研究の立場から	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 部落問題研究	6. 最初と最後の頁 55-70
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

〔学会発表〕 計57件（うち招待講演 12件 / うち国際学会 21件）

1. 発表者名 塚田孝
2. 発表標題 総括円座「近世巨大都市・三都の複合的社会構造とその世界史的位置 史料と社会 の視点から 」開催にあたって
3. 学会等名 「都市・周縁 史料と社会 科研」総括円座「近世巨大都市・三都の複合的社会構造とその世界史的位置 史料と社会 の視点から」
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 塚田孝
2. 発表標題 補足報告：史料紹介・吉五郎処刑一件と竹林寺
3. 学会等名 第61回部落問題研究者全国集会・歴史 分科会 近世身分研究の新展開
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 塚田孝
2. 発表標題 日本近世の非人集団とその社会的位置づけ 大坂の事例から
3. 学会等名 大阪公立大学大学院文学研究科「周縁的社会集団と近代」研究交流セミナー第1回
4. 発表年 2024年

1. 発表者名 吉田伸之
2. 発表標題 総括コメント
3. 学会等名 「都市・周縁 史料と社会 科研」総括円座「近世巨大都市・三都の複合的社会構造とその世界史的位置 史料と社会 の視点から」セッション
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 杉森哲也
2. 発表標題 近世京都との比較から
3. 学会等名 「都市・周縁 史料と社会 科研」総括円座「近世巨大都市・三都の複合的社会構造とその世界史的位置 史料と社会 の視点から」セッション
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 三田智子・齊藤紘子・熊谷光子・町田哲・別首和江・呉偉華・田坪賢人
2. 発表標題 近世難波村の諸側面 成舞家文書から
3. 学会等名 「都市・周縁 史料と社会 科研」総括円座「近世巨大都市・三都の複合的社会構造とその世界史的位置 史料と社会 の視点から」セッション
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 佐賀朝
2. 発表標題 リプライ
3. 学会等名 「都市・周縁 史料と社会 科研」総括円座「近世巨大都市・三都の複合的社会構造とその世界史的位置 史料と社会 の視点から」セッション
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 吉元加奈美
2. 発表標題 『市中取締類集 遠国伺等之部』からみる天保改革下の政策決定過程 大坂と京都の遊所統制策を事例に
3. 学会等名 「都市・周縁 史料と社会 科研」総括円座「近世巨大都市・三都の複合的社会構造とその世界史的位置 史料と社会 の視点から」セッション
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 後藤雅知
2. 発表標題 村から都市を見る立場から
3. 学会等名 「都市・周縁 史料と社会 科研」総括円座「近世巨大都市・三都の複合的社会構造とその世界史的位置 史料と社会 の視点から」セッション
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 森下徹
2. 発表標題 『周縁的社会集団と近代』から考える
3. 学会等名 「都市・周縁 史料と社会 科研」総括円座「近世巨大都市・三都の複合的社会構造とその世界史的位置 史料と社会 の視点から」セッション
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 海原亮
2. 発表標題 近世大坂の銅精錬業と関連諸集団
3. 学会等名 大阪歴史科学協議会12月例会「社会集団史」からみる近世大坂」
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 ティモシー・エイモス
2. 発表標題 明治以前の大坂周辺における「水の問題」と地域の知識
3. 学会等名 「都市・周縁 史料と社会 科研」国際小円座「近世大坂の水と地域」(国際学会)
4. 発表年 2024年

1. 発表者名 塚田孝
2. 発表標題 概観：近世大坂の堀川と都市社会
3. 学会等名 国際シンポジウム「水辺の都市の空間構造と歴史文化変遷」主催：上海社会科学院歴史研究所他（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 吉田伸之
2. 発表標題 江戸の水辺と舟運構造
3. 学会等名 国際シンポジウム「水辺の都市の空間構造と歴史文化変遷」主催：上海社会科学院歴史研究所他（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 杉森哲也
2. 発表標題 近世京都の部落史関係史料と都市社会
3. 学会等名 都市・周縁 史料と社会 科研 小円座「近世・近代京都の史料と社会」
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 三田智子
2. 発表標題 ダニエル・ボツマン「19世紀日本における牛、人間、そして「進歩」」を読んで
3. 学会等名 大阪市立大学国際学術シンポジウム2021フォローアップセミナー（第3回）（国際学会）
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 佐賀朝
2. 発表標題 近代大阪の臨海部開発・工業化と地域社会 河川・運河との関係に注目して
3. 学会等名 国際シンポジウム「水辺の都市の空間構造と歴史文化変遷」主催：上海社会科学院歴史研究所他（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 彭浩
2. 発表標題 江戸時代の長崎貿易と荷漕船
3. 学会等名 国際シンポジウム「水辺の都市の空間構造と歴史文化変遷」主催：上海社会科学院歴史研究所他（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 吉元加奈美
2. 発表標題 近世京都の遊所統制と天保改革
3. 学会等名 都市・周縁 史料と社会 科研 小円座「近世・近代京都の史料と社会」
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 張智慧
2. 発表標題 上海港の利権をめぐる駆引き 1920～30年代における招商局の埠頭問題を中心に
3. 学会等名 大阪市立大学国際学術シンポジウム2021フォローアップセミナー（第4回）（国際学会）
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 塚田孝
2. 発表標題 吉野五運の家と都市社会
3. 学会等名 〔都市・周縁 史料と社会 科研〕・大阪市立大学大学院文学研究科日本史学教室共催：近世大坂 史料と社会 円座「吉野五運をめぐる全体史」
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 塚田孝
2. 発表標題 従周辺村落史料聚焦巨大都市－日本近世都市史研究の現状（周辺村方史料から巨大都市を照射する 日本近世都市史研究の現段階 ）
3. 学会等名 『“超越時空境界”：跨国視野下の美国城市史研究 第三届美国城市史論壇：主催：中国美国史研究会・上海大学歴史学系（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Tsukada Takashi
2. 発表標題 Penser la societe japonaise de la periode premoderne en considerant les groupes sociaux marginaux（周縁的社会集団から考える日本近世社会）
3. 学会等名 14e colloque de la SFEJ 2021（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 塚田孝
2. 発表標題 近世大坂・道頓堀の社会 = 空間と周縁的社会集団の世界
3. 学会等名 大阪市立大学 国際学術シンポジウム2021メインセミナー・講演会「近世～近代日本・アジアの周縁的社会集団と史料」（「都市・周縁史料と社会 科研」共催）（国際学会）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Tsukada Takashi
2. 発表標題 Marginal Social Groups and Japan's Early Modern Society (周縁的社会集団から考える日本近世社会)
3. 学会等名 Yale University Japanese History Special Online Lecture, (CEAS) (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 吉田伸之
2. 発表標題 芝浦・高輪海岸の地帯構造と鉄道一件
3. 学会等名 2021年度都市史学会大会 (招待講演)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 杉森哲也
2. 発表標題 近世初期京都における遊廓成立過程の再検討
3. 学会等名 都市・周縁 史料と社会 科研 小円座「近世京都の史料と社会」
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 齊藤紘子
2. 発表標題 守田まどか氏の報告を聞いて
3. 学会等名 大阪市立大学国際学術シンポジウム2021オンラインセミナー第1回
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 齊藤紘子
2. 発表標題 京郊の土器師集団について 愛宕郡木野村の村方文書から
3. 学会等名 都市・周縁 史料と社会 科研 小円座「近世京都の史料と社会」
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 上野雅由樹
2. 発表標題 19世紀オスマン帝国の都市社会史：多宗教多宗派都市イスタンブルにおける教区とムフタル制
3. 学会等名 大阪歴史科学協議会4月例会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Ueno Masayuki
2. 発表標題 Cooperation Against the “Religion of the Pope”: The Ottoman Empire and the Armenian Patriarchs of Istanbul in the Eighteenth Century
3. 学会等名 65th International Conference of Eastern Studies (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 彭浩
2. 発表標題 近世日清貿易の関係史料 日中比較を兼ねて
3. 学会等名 大阪市立大学国際学術シンポジウム準備セミナー（第7回）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 彭浩
2. 発表標題 近世貿易都市・長崎の「唐人」社会 18世紀を中心に
3. 学会等名 大阪市立大学 国際学術シンポジウム2021メインセミナー・講演会「近世～近代日本・アジアの周縁的社会集団と史料」（「都市・周縁史料と社会 科研」共催）（国際学会）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 飯田直樹
2. 発表標題 日本から見たオスマン帝国の都市社会と近代化
3. 学会等名 大阪歴史科学協議会4月例会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 島崎未央
2. 発表標題 村中規定連印帳にみる和泉国池田下村の19世紀
3. 学会等名 大阪市立大学国際学術シンポジウム2021オンラインセミナー第3回（国際学会）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 吉元加奈美
2. 発表標題 近世大坂の都市域の拡大に関する一考察
3. 学会等名 第23回市大日本史学会大会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 吉元加奈美
2. 発表標題 近世大坂の都市周縁部の開発と地域社会 難波村を素材に
3. 学会等名 大阪市立大学国際学術シンポジウム2021オンラインセミナー第3回（国際学会）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 吉元加奈美
2. 発表標題 天保改革下の遊所統制と堀江新地
3. 学会等名 歴史科学協議会第55回大会（招待講演）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 山下聡一
2. 発表標題 井上関右衛門家伝来の中浜一丁目文書の把握にむけて
3. 学会等名 都市・周縁 史料と社会 科研 小円座「近世都市堺の個別町について」
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 ジョン・ポーター
2. 発表標題 幕末江戸の場末門前町と身分的周縁 乞胸の龍光寺門前への集団的移住を事例に
3. 学会等名 部落問題研究所・歴史研究会（都市・周縁 史料と社会 科研共催）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 John Porter
2. 発表標題 Land Ownership, Status, and Local Society in Early Meiji Asakusa-Shincho
3. 学会等名 16th International Conference of the European Association for Japanese Studies (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 渡辺健哉
2. 発表標題 『村上専精と日本近代仏教』(法蔵館)をめぐって
3. 学会等名 大阪市立大学国際学術シンポジウム準備セミナー(第5回)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 渡辺健哉
2. 発表標題 東京帝国大学退官後の常盤大定の活動をめぐって
3. 学会等名 国際シンポジウム 近代日本の中国学の光と影 (東北大学大学院国際文化研究科)(国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 渡辺健哉
2. 発表標題 幕末明治人の見た 近代 中国社会:岡千仞『観光紀游』を手がかりに
3. 学会等名 大阪市立大学 国際学術シンポジウム2021メインセミナー・講演会「近世～近代日本・アジアの周縁的社会集団と史料」(「都市・周縁史料と社会 科研」共催)(国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 渡辺健哉
2. 発表標題 大正時代の日本人僧侶による中国仏教理解 常盤大定を中心として
3. 学会等名 大阪歴史科学協議会1月例会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 塚田孝
2. 発表標題 史料紹介：大坂「千日墓所一件」に見える心中
3. 学会等名 遊廓社会研究会（第3次遊廓科研主催 / 都市・周縁 史料と社会 科研共催）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 塚田孝
2. 発表標題 小谷汪之氏の「カースト制」論について
3. 学会等名 大阪市立大学国際学術シンポジウム準備セミナー（第1回）
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 三田智子
2. 発表標題 家守網屋喜兵衛一件から考える難屋町
3. 学会等名 都市・周縁 史料と社会 科研 小円座「難屋町の町内構造について」
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 三田智子
2. 発表標題 19世紀中期の町共同体 雛屋町「丁内諸用記」から
3. 学会等名 都市・周縁 史料と社会 科研・上海社会科学院共催 国際シンポジウムプレセミナー「近世・近代巨大都市の比較史 大坂と上海の社会構造と史料」(国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 齊藤紘子
2. 発表標題 和泉国伯太藩陣屋元村の村落構造 青木家文書の調査から
3. 学会等名 都市・周縁 史料と社会 科研 国際小円座「地方城下町・陣屋元村の地域史」(国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 齊藤紘子
2. 発表標題 都市域の拡大と周辺村落 難波村成舞家文書から
3. 学会等名 都市・周縁 史料と社会 科研・上海社会科学院共催 国際シンポジウムプレセミナー「近世・近代巨大都市の比較史 大坂と上海の社会構造と史料」(国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 上野雅由樹
2. 発表標題 19世紀のイスタンブルにおけるムフタル制の運用と非ムスリム
3. 学会等名 九州史学会大会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 彭浩
2. 発表標題 十七世紀前期東アジア海域のトレーディング・パス オランダ東インド会社商務日記に収録された事例を中心に
3. 学会等名 近世史フォーラム・海域アジア史研究会の共催研究会（招待講演）
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 彭浩
2. 発表標題 十七世紀東アジア海域のトレーディング・パス
3. 学会等名 長崎学ネットワーク会議公開学習会（招待講演）
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 ジョン・ポーター
2. 発表標題 近世前期における町の創出過程と拝領町屋敷 江戸の坂本町を事例に
3. 学会等名 都市・周縁 史料と社会 科研 小円座（大阪市立大学国際学術シンポジウム準備セミナー（第1回））
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 ジョン・ポーター
2. 発表標題 明治初期東京における家畜伝染病と斃獣処理
3. 学会等名 東京外国語大学 大学院国際日本学研究院シンポジウム「感染症と歴史学ーコロナ時代における歴史学の果たすべき役割をめぐって」
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 John Porter
2. 発表標題 Poverty Management and the Early Modern Japanese City: A Case Study of Poor Relief in Osaka's Miike-dori Neighborhood
3. 学会等名 Solidarity and Mutual Aid in Modern and Contemporary Japan (1603-2020) Conference, フランス国立日本研究所 (招待講演)
4. 発表年 2021年

〔図書〕 計13件

1. 著者名 塚田 孝編	4. 発行年 2023年
2. 出版社 和泉書院	5. 総ページ数 176
3. 書名 上方文庫別巻11 史料から読む近世大坂	

1. 著者名 塚田孝・吉田伸之・杉森哲也編	4. 発行年 2024年
2. 出版社 大阪公立大学大学院文学研究科都市文化研究センター	5. 総ページ数 230
3. 書名 近世巨大都市・三都の複合構造とその世界史的位罫 (都市・周縁 史料と社会 科研報告書)	

1. 著者名 塚田孝・三田智子・齊藤紘子編	4. 発行年 2024年
2. 出版社 大阪公立大学大学院文学研究科都市文化研究センター	5. 総ページ数 161
3. 書名 近世難波村の共同研究 都市大坂の周縁をひらく (都市・周縁 史料と社会 科研報告書)	

1. 著者名 塚田 孝	4. 発行年 2022年
2. 出版社 山川出版社	5. 総ページ数 416
3. 書名 社会集団史	

1. 著者名 塚田 孝、佐賀 朝、渡辺 健哉、上野 雅由樹	4. 発行年 2023年
2. 出版社 清文堂出版	5. 総ページ数 478
3. 書名 周縁的社会集団と近代	

1. 著者名 塚田孝・齊藤紘子・三田智子・呉偉華・近世大坂研究会編	4. 発行年 2023年
2. 出版社 大阪公立大学大学院文学研究科都市文化研究センター	5. 総ページ数 177
3. 書名 「浄土宗法善寺一件留」無番1 大坂・難波村関係史料3(都市・周縁 史料と社会 科研報告書)	

1. 著者名 塚田孝・齊藤紘子・三田智子・呉偉華・近世大坂研究会編	4. 発行年 2022年
2. 出版社 大阪市立大学文学研究科都市文化研究センター	5. 総ページ数 133
3. 書名 「浄土宗法善寺一件留」二番・無番2 大坂・難波村関係史料2(都市・周縁 史料と社会 科研報告書)	

1. 著者名 池 享、櫻井 良樹、陣内 秀信、西木 浩一、吉田 伸之	4. 発行年 2021年
2. 出版社 吉川弘文館	5. 総ページ数 160
3. 書名 みる・よむ・あるく 東京の歴史 10	

1. 著者名 飯田直樹	4. 発行年 2021年
2. 出版社 部落問題研究所	5. 総ページ数 353
3. 書名 近代大阪の福祉構造と展開 方面委員制度と警察社会事業	

1. 著者名 塚田孝・齊藤紘子・三田智子・近世大坂研究会編	4. 発行年 2021年
2. 出版社 大阪市立大学文学研究科都市文化研究センター	5. 総ページ数 137
3. 書名 「浄土宗法善寺一件留」壱番 大坂・難波村関係史料1 (都市・周縁 史料と社会 科研報告書)	

1. 著者名 吉田 伸之、森下 徹	4. 発行年 2020年
2. 出版社 山川出版社	5. 総ページ数 196
3. 書名 全体史へ - 山口啓二の仕事	

1. 著者名 近藤 成一、杉森 哲也	4. 発行年 2021年
2. 出版社 放送大学教育振興会	5. 総ページ数 320
3. 書名 日本史史料を読む	

1. 著者名 塚田孝・三田智子・別曾和江・近世大坂研究会編	4. 発行年 2021年
2. 出版社 大阪市立大学文学研究科都市文化研究センター	5. 総ページ数 156
3. 書名 雑屋町「丁内諸用記」 近世大坂町方関係史料1 (都市・周縁 史料と社会 科研報告書)	

〔産業財産権〕

〔その他〕

周縁の社会集団と近代 https://www.lit.osaka-cu.ac.jp/MSGEM/

6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	吉田 伸之 (Yoshida Nobuyuki) (40092374)	東京大学・大学院人文社会系研究科(文学部)・名誉教授 (12601)	

6. 研究組織（つづき）

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	杉森 哲也 (Sugimori Tetsuya) (20226468)	放送大学・教養学部・教授 (32508)	
研究分担者	三田 智子 (Mita Satoko) (80713106)	就実大学・人文科学部・准教授 (35307)	
研究分担者	齊藤 紘子 (山下紘子) (Saito Hiroko) (80736942)	大阪公立大学・大学院文学研究科・准教授 (24405)	
研究分担者	佐賀 朝 (Saga Ashita) (40319778)	大阪公立大学・大学院文学研究科・教授 (24405)	
研究分担者	上野 雅由樹 (Ueno Masayuki) (10709538)	大阪公立大学・大学院文学研究科・准教授 (24405)	
研究分担者	彭 浩 (Peng Hao) (80779372)	大阪公立大学・大学院経済学研究科・教授 (24405)	

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究協力者	飯田 直樹 (Iida Naoki) (10332404)	地方独立行政法人大阪市博物館機構・大阪歴史博物館・学芸員 (84433)	

6. 研究組織（つづき）

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究協力者	島崎 未央 (Shimazaki Mio) (80756437)	地方独立行政法人大阪市博物館機構・大阪歴史博物館・学芸員 (84433)	
研究協力者	山下 聡一 (Yamashita Soichi)	和泉市教育委員会・和泉市史編さん室・会計年度職員	
研究協力者	吉元 加奈美 (Yoshimoto Kanami) (90803354)	京都精華大学・国際文化学部・講師 (34317)	
研究協力者	後藤 雅知 (Goto Masatoshi) (50302518)	立教大学・文学部・教授 (32686)	
研究協力者	神田 由築 (Kanda Yutsuki) (60320925)	お茶の水女子大学・基幹研究院・教授 (12611)	
研究協力者	ポーター ジョン (Porter John) (30572614)	東京外国語大学・大学院国際日本学研究院・準教授 (12603)	
研究協力者	森下 徹 (Morishita Toru) (90263748)	山口大学・教育学部・教授 (15501)	
研究協力者	町田 哲 (Machida Tetsu) (60380135)	鳴門教育大学・学校教育研究科(研究院)・教授 (16102)	

6. 研究組織（つづき）

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究協力者	海原 亮 (Umihara Ryo)	住友史料館・主席研究員	
研究協力者	渡辺 健哉 (Watanabe Kenya) (60419984)	大阪公立大学・大学院文学研究科・教授 (24405)	
研究協力者	ボツマン ダニエル (Botsman Daniel)	イエール大学・教授	
研究協力者	エーラス マーレン (Ehlers Maren)	ノースカロライナ大学シャーロット校・准教授	
研究協力者	エイモス ティモシー (Amos Timothy)	シドニー大学・准教授	
研究協力者	バルディ ヤニック (Bardy Yannick)	リール大学・准教授	
研究協力者	張 智慧 (Zhang Zhihui)	上海大学・副教授	
研究協力者	馬 学強 (Ma Xueqiang)	上海社会科学院・歴史研究所・研究員	

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計10件

国際研究集会 都市・周縁 史料と社会 科研・国際小円座「近世大坂の水と地域」	開催年 2024年～2024年
国際研究集会 大阪公立大学国際学術シンポフォローアップセミナー2023	開催年 2023年～2023年
国際研究集会 「周縁の社会集団と近代」研究交流セミナー（第1・2回）	開催年 2024年～2024年
国際研究集会 上海大学文学院・大阪公立大学文学研究科 国際共同オンラインセミナー（第2回）	開催年 2023年～2023年
国際研究集会 都市・周縁 史料と社会 科研・国際小円座「近江商人と地域社会」	開催年 2022年～2022年
国際研究集会 上海大学文学院・大阪公立大学文学研究科国際共同オンラインセミナー	開催年 2022年～2022年
国際研究集会 大阪公立大学国際学術シンポジウム2021フォローアップセミナー2022〔1～4回〕	開催年 2022年～2023年
国際研究集会 大阪市立大学国際学術シンポジウム2021オンラインセミナー〔メインセミナー・講演会／連続セミナー（1～6回）〕	開催年 2021年～2022年
国際研究集会 国際小円座「地方城下町・陣屋元村の地域史」	開催年 2021年～2021年
国際研究集会 都市・周縁 史料と社会 科研・上海社会科学院共催 国際シンポジウムプレセミナー「近世・近代巨大都市の比較史 大坂と上海の社会構造と史料」	開催年 2021年～2021年

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関
---------	---------